

事例紹介

農業者設立型農業法人新部門チャレンジ支援事業

委託事業概要

起業10年以内の県内の農業法人を対象に県が委託して実施するもので、新部門へのチャレンジや、新技術導入等による経営規模拡大を行う際に失業者を雇用し、その労働者を新分野を担う人材として育成し、農業法人の経営の発展と雇用就農者の増加を促進し、地域農業の活性化を図る。

委託先

株式会社 hototo
従業員数 8人

新たな
雇用創出数
(計画)

2人

委託事業費

約507万円(平成25年度)

委託事業
開始時期

平成25年6月

委託業務内容

新たに新部門(新規作目導入、販路の拡大、加工部門の導入等)へのチャレンジや新技術導入等による経営規模の拡大を目指す、起業後10年以内の県内の農業者が設立した農業法人を対象に、県が受託希望者を募集し、株式会社hototoをそのうちの1社として採用

【株式会社 hototoの取り組み】

- ・新たな栽培作目として、紅ほっぺ(イチゴ)の栽培に取り組む
- ・既に生産している果物を使った加工部門の導入
- ・NPOと連携し、販路拡大を行う



代表取締役 水上 篤 氏



畑作業に向かうhototoのメンバー

活動紹介

新たな作物として、イチゴの紅ほっぺの栽培を行い、カフェ 6次産業化をめざし、生産販売管理を実施していきます。

また、既に栽培している果物を使い、加工品・菓子製造などの加工部門の導入を実施していきます。

上記の技術習得に必要な関連企業や先進農家での実地研修を実施し、新規雇用する労働者が農業分野の技術を習得することにより、継続的な雇用に繋がっていきます。

また、販路拡大として、農資源の再発見を通じて。都市と農村の交流・地域活性化活動などを行なっているNPOと連携し、山梨県産の果物の販路を拡大することにより、地域全体の活性化にも繋がっていきます。



現在栽培している特濃ぶどうの作業



これから取り組んでいくイチゴ

事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

イチゴは全国的にみても人気の高い果物となっています。山梨にはぶどう、桃などたくさんの果物もありますが、冬に雇用を維持するものがないため、冬の収穫物として、全国でも人気のあるイチゴの生産・販売・加工を行うことにより、安定的な雇用、そして事業としての拡大を行っていきます。

今回の緊急雇用事業で雇用した方には、関連企業や先進農家での研修により、農業技術や販売のための知識等を習得し、6次産業化をめざすこの事業の担い手となってほしいと考えています。

起業支援型地域雇用創造事業 【高知県大月町】

事例紹介

マグロ養殖事業経営基盤安定化事業

弊社は、平成23年3月に設立され、大月町安満地地区及び橘浦地区においてマグロ養殖事業に参入した会社です。本年度は事業参入後3年目で、当事業により、生産規模の拡大と、出荷体制の確立を図り、良質な養殖マグロを安定的に供給していける体制づくりを目指しています。



道水中谷水産株式会社
総務課長 高田 さん

委託事業概要

マグロ養殖事業の生産量の拡大と出荷体制の確立にむけ雇用の創出を行い、良質な養殖マグロの安定供給につなげ、経営基盤の安定化を図る。



橘浦マグロ養殖漁場・出荷場位置図

委託先

道水中谷水産株式会社
従業員数 16人

新たな雇用創出数(計画)

4人

委託事業費

約 1,711万円
(平成25年度)

委託事業開始時期

平成25年4月

委託業務内容

道水中谷水産株式会社は、平成23年3月に設立され、大月町安満地地区及び、橘浦地区においてマグロ養殖事業を行っている。同社は本年度が事業参入後3年目で、当事業により、4名の失業者を雇用し、マグロ養殖における生産管理および出荷業務等に従事させ、生産規模の拡大と出荷体制の確立を図る。



小割の中を泳ぐクロマグロ(2歳魚)

活動紹介



・翌日の餌出し作業



・給餌作業



・給餌準備作業



・マグロ取り上げ作業



・マグロ出荷作業



・網修繕作業



・養殖小割修繕作業

事業終了後の事業継続

・雇用継続への展開

良質な養殖マグロの安定供給のため、今年度も7月～9月にかけて稚魚（ヨコワ）の受け入れを行っている。5月には、2歳魚の初出荷を行い年間1万尾の出荷を計画している。7月には、橘浦漁港に本社社屋兼出荷場を建設し、本格的な出荷体制も整った。これらにより、3年サイクルのマグロ養殖事業の実施体制が整い、当事業終了後の雇用継続も実施できる見込みである。